

令和8年1月吉日

苫小牧市長 金澤 俊 様

苫小牧市西部西地区に関する要望書

苫小牧市 錦岡地区商店会

代表 石井 潤一

新春の候、貴職におかれましては、益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より苫小牧市政の運営にご尽力いただいておりますこと、地域の一員として深く感謝申し上げます。

Ⅰ. 要望の目的

本要望書は、苫小牧市西部西地区の活性化を市全体の発展と調和して推進していくため、行政としてのご理解とご協力をお願いするものです。

2. 背景と現状認識

Ⅰ. 市内の東西格差の常態化

東部地域の開発や苫小牧駅前再整備計画が進む一方で、西部地域は依然として話題が乏しく、将来像が見えにくい状況が続いております。

Ⅱ. JR 錦岡駅の老朽化と利用環境の課題

錦岡駅を含む西部エリアの駅施設は老朽化が目立ち、安全面・利便性の両面で不安を感じています。

Ⅲ. 教育環境が十分に評価されていない現状

樽前小学校、苫小牧高専、支援学校、北洋大学等“学びの選択肢の多さ”や、子育て世代に優しい“比較的低い地価”は魅力的な特徴であるにもかかわらず、市全体での情報発信は

限定的と感じています。

IV. 北海道栄高校の移転による影響

北洋大学敷地内への移転に伴い JR 錦岡駅の利用者増が見込まれ、駅前の交通導線や安全確保を不安視する反面、若い世代の往来が増えることを期待しています。

V. 地域コミュニティの強さ

町内会、商店会、消防団等の基礎自治が今も根強く活動しており、近年は錦岡樽前山神社を中心とした催事や、地域コミュニティによる地域活性化活動が盛んで、

“自ら地域を盛り上げる住民意識”が育まれていることは、西部西地区の大きな財産であると感じています。

VI. 高齢化による移動手段の深刻化

高齢者比率が年々高まり、公共交通・地域交通の不足や不便さが顕著になりつつあります。

樽前地区を含めた移動支援体制の整備が急務となっています。

3. 具体的な要望事項

I. 【広報強化】

西部西地区の魅力を積極的に発信していただくことを要望いたします。

教育資源、住環境、地域コミュニティの強さ等、市全体の資産として位置付けた、戦略的な広報をお願いいたします。

Ⅱ.【インフラ】

JR 錦岡駅周辺の利便性と安全性の向上を要望いたします。

駅舎の改修、照明・防犯設備の増強、駐輪場の整備、公衆トイレの改修等、市民や学生が、周辺環境も含めて安心して JR 錦岡駅を利用できるよう、JR との連携、及び支援をお願いいたします。

Ⅲ.【商業振興】

JR 錦岡駅周辺への商業施設誘致を要望いたします。

地域住民だけでなく、JR 錦岡駅を利用する学生を含む利用者ニーズに応えられる利便性向上、及び地域のにぎやかさに繋がる商業施設の誘致をご検討願います。

Ⅳ.【市有地活用】

JR 錦岡駅近隣の市有地を、商業利用を目的とする地域民間企業へ有償譲渡していただくことを要望いたします。

民間活力を最大限活かし、JR 錦岡駅前を起点とした賑わい創出へと繋がる開発を促進していただきたいと考えております。

Ⅴ.【移動支援】

日本版ライドシェア等の地域交通の導入を要望いたします。

高齢者の移動手段確保、鉄道利用者の二次交通強化の観点から、日本版ライドシェアや地域主体の MaaS、デマンド型交通等、新しい移動サービスの導入を促進すべく実証実験が必要であれば、錦岡地区商店会として協力を惜しむことはありません。

西部西地区は、住民自治という強みを持つ地域であり、市の支援と民間の力が適切に噛み合えば、未来を切り開くポテンシャルを秘めております。市政のご判断とご支援を賜りながら、地域の一員として今後も責任をもって取り組んでまいります。何卒、ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

以上